

平成27事業年度

決 算 報 告 書

自：平成27年4月 1日

至：平成28年3月31日

国立大学法人九州大学

平成27年度 決算報告書

国立大学法人九州大学

(単位：百万円)

区分	予算額	決算額	差額 (決算－予算)	備考
収入				
運営費交付金	42,915	44,348	1,432	(注1)
施設整備費補助金	7,173	4,286	△2,886	(注2)
船舶建造費補助金	—	—	—	
補助金等収入	5,446	5,745	298	(注3)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	107	107	—	
自己収入	51,387	55,618	4,230	
授業料、入学料及び検定料収入	10,548	10,365	△183	(注4)
附属病院収入	38,430	42,750	4,319	(注5)
財産処分収入	1,767	683	△1,083	(注6)
雑収入	640	1,818	1,178	(注7)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	14,530	17,722	3,192	(注8)
引当金取崩	149	196	47	(注9)
長期借入金収入	9,692	8,994	△697	(注10)
貸付回収金	—	—	—	
目的積立金取崩	1,758	1,620	△137	(注11)
計	133,160	138,639	5,479	
支出				
業務費	88,969	92,122	3,152	(注12)
教育研究経費	50,505	50,295	△209	
診療経費	38,464	41,826	3,362	
施設整備費	18,739	11,237	△7,502	(注13)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	5,446	5,559	112	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	14,530	17,622	3,092	(注15)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	5,472	5,401	△71	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	133,160	131,943	△1,216	
収入－支出	—	6,696	6,696	

○予算と決算の差異について

- (注1) 予算段階では予定していなかった前年度からの繰越額を計上したこと及び追加配分事項があったこと等により、予算額に比して決算額が 1,432 百万円多額となっています。
- (注2) 事業の一部を翌年度へ繰越したこと等により予算額に比して決算額が 2,886 百万円少額となっています。
- (注3) 予算段階では予定していなかった国からの補助金等の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が 298 百万円多額となっています。
- (注4) 授業料徴収対象者数の減による授業料収入の減少等により、予算額に比して決算額が 183 百万円少額となっています。
- (注5) 診療実績の増加等により、予算額に比して決算額が 4,319 百万円多額となっています。
- (注6) 売却予定であった箱崎地区グラウンド等の計画時期変更に伴い、予算額に比して決算額が 1,083 百万円少額となっています。
- (注7) 予算段階では予定していなかった国際交流会館(香椎浜)移転等補償費を計上したこと及び施設使用料の増収等により、予算額に比して決算額が 1,178 百万円多額となっています。
- (注8) 産学連携等研究収入の獲得に努めたこと等により、予算額に比して決算額が 3,192 百万円多額となっています。
- (注9) 賞与引当金対象者の増加等により、予算額に比して決算額が 47 百万円多額となっています。
- (注10) 自己資金投入による民間借入予定額の変更、及び契約努力に伴う事業費の一部削減により、予算額に比して決算額が 697 百万円少額となっています。
- (注11) 事業実施時期を変更したことにより、予算額に比して決算額が 137 百万円少額となっています。
- (注12) 中期計画・中期目標達成のために次年度以降の経費を確保したため、教育研究費の決算額が 209 百万円少額となっています。また、診療実績の増加に伴い診療経費が増加したことにより、予算額に比して決算額が 3,362 百万円多額となっています。
- (注13) (注2)に示した理由、及び民間借入事業分の繰越等により、予算額に比して決算額が 7,502 百万円少額となっています。
- (注14) (注3)に示した理由等により、予算額に比して決算額が 112 百万円多額となっています。
- (注15) (注8)に示した理由等により、予算額に比して決算額が 3,092 百万円多額となっています。